

＜ もくじ ＞	
1. 2021年度総会・大会についてのお知らせ（再掲）	1
2. 「長期計画検討委員会」から会員アンケート実施のお知らせ	2
3. 板倉真琴監督「ひとと原発～失われたふるさと」上映会と対談のお知らせ	2
4. いきがい・助け合いサミット in 神奈川（分科会企画）（再掲）	3
5. 研究会からのお知らせ	3
6. 研究会からの概要報告	4
7. 事務局からのお願い	6

1. 2021年度総会・大会についてのお知らせ（再掲）

(1) 2021年度総会議案の議決について未回答の会員の皆様へのお願い

すでにお知らせしましたように、2021年度の定時総会は昨年同様最小規模の開催とし、大多数の会員は会場に来場することなく、5月28日～6月24日までの間に、委任状の提出あるいは書面（郵送または電磁式）によって議決権を行使をお願いしております。すでに委任状を提出、または議決権行使をされていた皆様にはご協力ありがとうございました。しかしまだ、委任状提出または議決権行使をされていない会員の皆様には、6月24日までに、総会議案（第1号議案から第5号議案）について、電磁式（5月28日にメールでお送りしたURLから専用フォームに入力をお願いします。メールでの回答も受け付けます）か郵送法（こちらを選択された方には返信用ハガキをお送りしております）のいずれかによって委任状提出または議決権行使をお願いいたします。

総会は、過半数の委任状ないし議決権行使がないと成立しません。現時点で未回答の方がかなりおられますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

（JAASNewsをメールでお送りしている会員には、4月26日に議決権行使を電磁式で行うか郵送で行うかの選択をしていただきました。その問い合わせに5月12日までにご回答いただけなかった方には、電磁式でお願いしております。改めてリマインドメールをお送りしましたので、よろしくお願いいたします。）

(2) 2021年度第20回大会について

今年度の大会は、昨年同様オンライン開催となります。昨年との違いは、参加者は基調講演とシンポジウム終了後の録画映像を見るのではなく、オンラインで全員が同時に参加していただくことになりました。ただし、会員・非会員を問わず事前にお申込みいただき、お送りするZoomのURLからご参加いただく形をとっております。また、参加者にはパネルディスカッションの後、Zoomのブレイクアウトルーム機能を使ったグループ討論にも参加していただく試みも行いますので、楽しみにしてください。

今後の活動ではできるだけ多くの方の参加が可能な方法について検討して参りますので、なにとぞご容赦ください。

- 1) 開催日時：2021年6月27日（日） 14：00～16：30
- 2) 開催拠点：労働者協同組合連合会会議室（司会者、基調講演者、パネリスト、コメンテーター、会場サポーターのみが集合）
- 3) 参加方法：Zoomによるオンライン参加

- 4) 申込み方法：参加申し込みフォーム <https://forms.gle/DMUkP6xa1t9eXF1S7>
(下のQRコード)から6月24日までにお申し込みください



大会参加申し込みは会員でも非会員でも可能です。大会開催日が近づいてから、申込者全員に招待メールをお送りします。
新型コロナ感染が続き、会場での開催が困難な今年度大会までは、オンライン（Zoom）で参加できる方に限られることはまことに残念ですが、遠方にお住まいの方が参加できるメリットもあります。

- 5) 参加費：無料
6) 大会テーマ：「高齢者のICT活用～コロナ禍を超えて～」
7) 基調講演：澤岡詩野（当学会理事・ダイヤ高齢社会研究財団主任研究員）
8) シンポジウム・パネリスト：
★片山嗣規（なかの生涯学習大学「つなげるサポーター・チームICT」）
★大津駿介（なかの生涯学習大学「つなげるサポーター・チームICT」）
★橋本みどり（なかの生涯学習大学「つなげるサポーター・チームICT」）
★柴田 守（会員、ナルク市川、社会情報研究会メンバー）
コメンテーター：荒井浩道（当学会理事・駒澤大学教授）
司会：袖井孝子（当学会会長）
9) グループ討論（Zoomのブレイクアウトルームを活用）
※ 詳細については、添付のプログラムをご参照ください。

2. 「長期計画検討委員会」から会員アンケート実施のお知らせ

今年2月に発足した長期計画検討委員会は、6月までに5回開催されました。これまで、当学会のコンセプトについての議論が行われ、「老若男女共同参画社会」や「エイジフリー」といった学会の方向性、実践と理論の交流、若い世代に働きかけての相互交流など、重視すべき諸点が整理され、委員の間での意識の共有も図ることができました。

そこで、JAAS News 第259号でもお知らせいたしましたように、学会員の皆さまに、学会に対する現状認識、人材の要素、期待、学会の方向性への共感を伺うために、会員アンケートを7月中旬以降に実施したいと思います。Webアンケートとなりますので、実施に際しては、メールにてご案内いたします。アンケート結果については、分析を経て会員の皆様にご報告の場を設けます。

皆様、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

(森 記)

3. 板倉真琴監督「ひとと原発～失われたふるさと」上映会と対談のお知らせ

福島県浪江町は、2011年3月11日の東日本大震災によって引き起こされた福島第一原発事故の影響で、ほぼ全町民が全国に避難を余儀なくされたばかりでなく、請戸海岸地域では津波被災者の一部が消防団への避難指示のために救出できなかったことが伝えられ、多くの野生動物や放置された家畜やペットが、放射能除染が行われるまでの間、市街地をさまよい人のいない家に棲みついたり息絶えたりしました。避難指示解除後、帰還を選択した人、身近な人を失いふるさとに帰還することをあきらめた人、近隣市町村で暮らす人、被爆した牛を集めて牧場で飼育し続ける人など、さまざまに選択されたそれぞれの生き方を見つめ、ふるさとをある日突然理不尽に奪われた人々の語りを丹念に収録した板倉真琴監督のドキュメンタリー映画が完成しました。

これまでの大会や講座に参加された皆様から頂いた義援金の一部も、この映画の完成を後押ししました。ご協力をいただいた皆様をはじめ多くの皆様に見ていただきたく、ご案内いたします。

- 1) 日 時：2021年8月8日（日） 14：00～17：00
- 2) 発信会場：労働者協同組合連合会会議室
- 3) 映画上映：8月7日（土）および8日（日）のみYouTubeによる視聴

- 4) 対談テーマ：ひとにとっての本当の復興とは
板倉真琴（脚本家、映画監督）
伊藤まり（WE21 ジャパン青葉代表）
原田雄一（浪江町住民、NPO 新町なみえ、二本松市で時計店経営）
- 5) 会場参加：（詳細未定）、オンライン参加：最大90名
- 5) 参加費：無料
- 6) 参加申し込み方法：詳細が決まりましたら改めてお知らせします。申込者には上映のURLとZoomミーティングへの招待URLをお送りします。（長田 記）

4. いきがい・助け合いサミット in 神奈川（分科会企画）（再掲）

公益財団法人さわやか福祉財団が主催する「いきがい・助け合いサミット in 神奈川 共生社会をつくる地域包括ケア ～生活を支え合う仕組みと実践～」でシニア社会学会が分科会を企画します。

- 1) 開催日：2021年9月1日（水）～2日（木）
- 2) 会 場：パシフィコ横浜
- 3) 会場参加：1,500名、オンライン視聴：3,500名
- 4) 参加費：資料代として2,000円（会場参加、オンライン視聴共に参加費を兼ねたお1人ずつの金額です）
- 5) シニア社会学会企画の分科会
日時：9月2日（木） 12：45～14：45 第3部パネル 分科会27
テーマ：「心身機能が低下しても、持てる能力を生かして高齢者が社会参加する方法とは」
進行役：澤岡詩野（当学会理事・ダイヤ高齢社会研究財団主任研究員）
アドバイザー：袖井孝子（当学会会長）
登壇者：
★中林美奈子（富山大学歩行圏コミュニティ研究会代表）
★前田隆行（DAYS BLG!代表）
★椎根 溪（ウェルケアヒルズ馬事公苑介護主任）
- 6) 参加申込みなど詳細は さわやか福祉財団の「いきがい・助け合いサミット」ページをご覧ください。 <https://www.sawayakazaidan.or.jp/summit/osaka/kanagawa2021/>

5. 研究会からのお知らせ

(1) 第21回「社会情報」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2021年6月23日（水） 15：00～17：00
 - 2) 場 所：Zoom 開催
 - 3) 概 要：次年度の研究会テーマ検討つづき、市川の学生ボランティアさんへの質問準備、シニア社会学会大会支援での役割分担
- ※ 参加ご希望の場合は、前日までに森 moriyasu@ied.co.jp までご連絡ください。

(2) 第22回「ライフプロデュース」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2021年6月29日（火） 17：00～19：00
- 2) 場 所：Zoom 開催
- 3) テーマ：
 1. 10年後、20年後の自分 一悔いのない最期を迎えるためにー
人生の先輩から学ぶ生き方（逝き方）の極意 その2
 2. スピリチュアルペインについて

参考図書：「在宅ホスピス」という仕組み 山崎章郎（新潮選書）

※ 参加ご希望の場合は、前日までに中村 nakamurayoshiko6@gmail.com までご連絡ください。

(3) 第12回「YNS やまぶき任意後見サポート会」開催のお知らせ

- 1) 日 時：2021年7月24日（金） 18：30～20：00
- 2) 場 所：きゅりあん（品川区立総合区民会館）
- 3) 発表者：鈴木 眞澄及びその他
- 4) テーマ：コント及び人形劇

劇団 ^{びしょうざ}「B笑座」を始めることにいたしました。

テーマは「なろうぜ！認知症」です。

認知症 700万人の時代と言われています。会の目的は、認知症になる前の予防策として任意後見制度をPRしています。

しかし、認知症などの理解が不足していると感じました。まだ、まだ、わからないことばかりです。認知症の理解を深めるためにもコントを行います。

劇団員も募集しています。

※ お問い合わせは、鈴木 眞澄 (mme_masumi@yahoo.co.jp) までお願い致します。

(4) 第132回 「社会保障」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2021年7月28日（水） 18：00～20：00
 - 2) 報告者：金 貞任（東京福祉大学教授）
 - 3) テーマ：「韓国の介護保険制度（仮）」
 - 4) Zoom で開催いたしますので、参加を希望される方は、阿部と小島にご連絡ください。
阿部富士子 fujiko-s@jeans.ocn.ne.jp 小島みさお kojima.misao01@gmail.com
- ※ ご質問がありましたら、阿部(旧姓佐藤)まで 090-4436-6853
なお、6月はお休みです。

6. 研究会からの概要報告

(1) 第21回「ライフプロデュース」研究会の報告

- 1) 日 時：2021年5月17日（月） 15：00～17：00
- 2) 場 所：Zoom 開催
- 3) ファシリテーター 岡田慶子（臨床心理士）他参加者6名
テーマ 10年後、20年後の自分 一悔いのない最期を迎えるためにー
人生の先輩から学ぶ生き方（逝き方）の極意

各自のGWの過ごし方&近況報告の後で、今回は「自分自身の最期」について、①と②について各自 発表していただいた。

- ① 自分の最期はどのように迎えたいと考えているか
- ② そのために今できることは、何があると思うか

□50代の頃の話だが、知人で、性格や生活態度などから、その人がどのような死に方をするのか
みる人がいて「君は突然死だ。」といわれた。それで終活を始めて、尊厳死協会に入り誓約書を書き、エンディングノートを何冊か書いた。遺言書、living Will も書いて、終末医療をどうするかまとめた。生命保険の証書や遺影と一緒に箱に収めてある。精一杯自立して迷惑をかけずに突然死で逝きたい。病院に行かないで済むように、怪我をせずに健康体操をして健康維持に努力している。(80代男性)

□ コロナでいつそういう場面になるのか分からない。防ぎようもない。自分でコントロールできるものは、食事、とかエクササイズとかでコントロールする。医療崩壊したら、選択できなくなる。正直不安は大きい。残りの時間を考えて、今は何を優先させるべきか考える。80歳以上の人の生き方、フィジカル、メンタル共に生き延びてこられた人たちで、安心感がある。共通するのは学びたいという意欲。残された時間でやれることをやりたい。(70代男性)

口どのように迎えたいというか、自己決定権があるのかと思う。上野千鶴子は介護保険を使って独りで死ぬことを提案しているけど、介護の担い手が少ないという現実がある。自宅で死ぬことを希望しても、家族が体力がなくて介護できないという話もある。ホスピスは 1日16000円かかる。払える人と払えない人も出てくる。がんと老衰で死ぬのとは事情が違う。最後に自分の抛り所となるものは何か。私は最後まで奔放に生きたい。そのために必要なのは学び。(70代女性)

など、各自の「抛り所」をめぐる話が盛り上がり、意見交換を行った。残念ながら、限られた2時間枠の中で、前半の近況報告に丁寧に時間を掛けたために閉会の時間となった。次回も、同じテーマで継続、ファシリテーターも岡田が継続して担当することとなった。(岡田慶子 記)

(2) 第131回「社会保障」研究会の報告

1) 日 時：2021年5月19日(水) 18:00~20:30

2) 報告者：田中雅英(東京都高齢者福祉施設協議会会長)

3) テーマ：「コロナ禍の施設に求められる変革——介護保険の東京23区問題の解決策」

参加者 25名

東京都の新型コロナウイルスの感染者の8割が23区内である。コロナ禍によって、ただでさえ経営の難しい特養は、デイサービスやショートステイの休止で、いっそう苦境に立たされている。施設経営を圧迫している全国共通の要因は、人材不足、介護報酬の抑制、コロナ禍によるデイサービスやショートステイの休止などである。東京23区に特徴的な要因は、①人件費を反映しない介護報酬(厚労省の規定では人件費45%だが実際には65%以上かかる)、②高い人材派遣紹介料(本人の年収の3分の1、1施設あたり年平均2千万円)、③過酷な人材確保競争(飲食から介護へは来ない)、④高い家賃・地代(介護報酬には反映しない)。

施設長を務める白水の郷では、PCR検査の結果、2020年11月17日に職員13人、利用者2人に陽性者が見つかった。全員、無症状。デイサービス・ショートステイを休止し、感染者を隔離。幸い発症者はいなかった。11月30日には通常経営に戻った。内部への対策として、①感染症対策本部を立ち上げ、毎日、午前午後会議し記録、②陽性者ユニットの職員隔離、③利用者・職員の健康確認、④消毒の徹底、⑤職員配置の確認などを行った。外部への対策として、①家族や身元引受人への連絡、②関係のある居宅事業者への連絡、③法人HPに陽性者が見つかったことを公表。

この経験から事前準備として、①シフト調整、②余裕のある職員配置、③法人内での応援体制、④外部からの応援体制、⑤顔の見える関係作り、が重要であることが判明した。緊急時において、1施設で対応することは難しい。良質なサービスの提供と経営基盤の強化を目的として社会福祉連携推進法人が2020年6月5日にスタートし、施設間での情報共有、災害・クラスター発生時の相互支援、備品の共同購入、人材の出向、資金の貸し付けなどが行われることになっている。ピンチはチャンスであり、コロナ禍を変革のチャンスにしたい。

神奈川県高齢者福祉施設協議会会長の加藤馨氏の参加もあり、23区と地方との相違が明らかにされた。時宜を得たテーマのためか、通常の倍近い参加者があり、活発な議論が展開された。

(袖井孝子 記)

(3) 第20回「社会情報」研究会の報告

1) 日 時：2021年5月19日(水) 15:00~17:00

2) 場 所：Zoom開催

3) テーマ：

① 柴田さんの市川での活動のお話

4月に、地域で活動する若いボランティアの千葉商大生と“ちいきまご”活動をしている女性に話をしてもらった。今後、市川で学生ボランティアとナルク会員(1名)の計2名でスマホの個別講習を有償で行う。来た人が1回500円支払って、個別指導を受ける。(ナルク市川の活動

は市民にオープン)。シニアの問題は、機械に慣れていないこと。チョットした躓きで進まなくなる。そこをマンツーマンでクリアしたい。

② コロナとICT

ワクチン接種と支援について、ワクチン予約に際して親族や知人の他自治体などでどのような支援をしているのかまとめた資料をもとに討議。職員による代行、ボランティアによる代行、自治会での代行実施、郵送での対応などがあつた。

「だれも取り残さない」ことへの担保はどのようにするのか。ICT を使うことは、コロナを経てもはや不可逆的になった。流れに乗る人と取り残される人がいる。それに対して、どうするか。などの意見が出た。

③ 総務省のデジタル施策について

「デジタル活用支援推進事業」について紹介。デジタル活用支援員という名称で有償ボランティアが高齢者に対してスマホ講習を行うというスキームに携帯販売店の店員による講習も加わっている。今年度から全国で実施予定。

総務省はハードや通信が中心。ソフト面は触れられていない。セキュリティ面は国がやるべきことだろう。リテラシーを高める方法として、若年層から始めてそれを高齢層に浸透させることを指名している。ICT 弱者にとって、自助が大切。自分で機会を作って楽しんでやること。我々ができることは自助とコミュ助である。 (森 記)

(4) 第 11 回「YNS やまぶき任意後見サポート会」の報告

2021年5月28日(土)に予定していた第11回研究会(テーマ:市民が市民を支える社会をつくります)は、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言により会館から閉鎖の連絡がありましたので中止しました。

7. 事務局からのお願い

<『エイジレスフォーラム19』送付のお知らせと年会費納入についてのお願い>

『エイジレスフォーラム19』ができましたので別便で郵送します。そこに年会費納入のための「振込用紙」を同封いたしますので、納入をよろしくお願いいたします。また「いきがい・助け合いサミット in 神奈川」の詳しいパンフレットも同封いたしますので、ご覧ください。

<会員情報変更時のご連絡のお願い>

コロナ禍中、各種ご連絡をメールや郵送で行うことが多くなっております。会員情報(氏名・住所・eメールアドレス等)に変更が生じた場合は、速やかにご連絡くださいますようお願いいたします。なお、電話による会員情報変更等の連絡はご遠慮いただいております。シニア社会学会事務局あてに、eメール: jaas@circus.ocn.ne.jp 又は郵送いずれかの方法にてお知らせくださいますようお願いいたします。

<7月 JAAS News の発行日>

次回 JAAS News 第263号の発行日は、7月21日(水)です。原稿をお寄せ下さる方は、7月14日(水)までをお願いいたします。

一般社団法人シニア社会学会・事務局(水、および月または金オープン)
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-27-4 ナカヤビル202
電話&FAX:(03)5778-4728
eメール: jaas@circus.ocn.ne.jp URL: <http://www.jaas.jp/>